

(様式6-3)

研修等 報告書

令和3年 / 月 15日

三田市議会議員 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	無会派	代表者	印
		議員名	
参加者氏名	肥後 淳三		
講演会等研修名	令和2年度市町村議会議員研修(2日間コース)第2回「防災と議員の役割」		
研修事項	○防災への備えと危機管理 ○平時の防災と議員の役割 ○災害時における議会BCPの策定・検証・改定他		
日 時	R3年 1月 7日(木曜日)～ R3年 1月 8日(金曜日)		
場 所	全国市町村国際文化研修所 滋賀県大津市唐崎2丁目13-1		
所 見 (別紙でも可)	<p>新型コロナ感染拡大の影響により東京都、神奈川県などが再び緊急事態宣言下に置かれる中の研修となった。当日のキャンセルが10名あり、研修者は半分程度減り34名であった。</p> <p>防災研修に参加して、改めて家屋等の耐震化の必要性和家具等の転倒防止を実行することで多くの市民の命が守られることを教えて頂いた。なお、他市町で進められている災害時BCP(業務継続計画)については、三田市議会基本条例に定められている議会の災害時の動きを補完するものとして今後研究していく必要性を感じた。</p> <p>研修概要は、別紙と添付資料のとおりである。</p>		
添付資料	・受講証明書 ・ワークショップ(演習資料) ・災害への備えと危機管理 ・平時の防災 ・足利市議会災害時BCPについて ・事前アンケート		

添付書類(講演会内容のパフレット等)

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入の上、押印してください。

個人支給の場合、会派名(無会派は記入不要)、議員名を記入の上、押印してください。

(研修ポイント)

- 1 災害への備えと危機管理・講師：東京大学社会科学研究所 特任教授 加藤孝明
 - ・近年防災を肩書にする講師が増えたが、何の防災を専門にしているのか確認してから話を聞く
とよい。
 - ・大阪府北部地震で起こったブロック塀の下敷き死者については、1978年の宮城県沖地震でも
起こっており、なんら教訓が生かされていない。
 - ・過去の地震経験が物資の供給面や避難所運営で生かされていない。
 - ・近年コロナ禍にあって全ての被災者が避難所に避難してくることができなくなっている。リア
ルな現実をみて避難行動を誘導すべき。例えば、自宅が残っている被災者は、自宅で避難する。
テントがあれば、運動場など広い土地を活用するなど。指定した避難所での運営だけを考えない
こと。
 - ・2016年に発生した糸魚川市大規模火災については、大規模火災と言われているが、日本各地を
見てみるとさらに大きな火災が発生してもおかしくない「延焼運命共同体」は山ほど点在する。
 - ・東日本の災害から国民の気になる考えが浮上。(自助、共助、公助のバランスが崩れている)
 - ・自然災害からの安全は、行政が確保すべき⇒ 行政に依存しすぎる
 - ・帰宅困難は、地震の直接の死とは関係ないが、大きな問題と重要視し過ぎ
 - ・すべての人が安全でなければならない⇒ 人はいろんなリスクの中で生活している
リスクを容認した生活、安全水準の完璧を求めない。
 - ・全国的なルールからの脱却・・・ガイドラインはあくまで参考。場面、場面で変わることを意
識する。見直すことも大切。
 - ・財源が多くあった時代から財政難の時代 ⇒ 仕事が多くなっている。役所だけでやるのは限
界が・・・その分市民の力を借りる。
 - ・台風は過去のデータから見て発生数が減少、その分台風の大型化や局所的な大雨が多発。要因
は、地球温暖化。
 - ・いくらインフラを強化しても想定外の災害が発生することを認識する。
 - ・地区計画づくりは、共助と行政の限界を話し合い互いの強みと弱みを補完しあう。
- 2 平時の防災と議員の役割・講師跡見学園女子大学教授 鍵屋 一
 - ・ナマハゲの由来・・・怠け者を剥ぐから
 - ・コロナ禍では、分散避難が原則。自宅避難やホテル避難、知人宅、親族避難もあり。
 - ・大地震から命を守る取り組みは、家の耐震化と家具を倒さないこと。コロナに関係なく推進し
市民の命を守る。
 - ・人は正常化の偏見(自分は死なない、大丈夫)で今起こっていることやこれから起こりうる災
害を過小評価してしまう。
 - ・この正常化の偏見を克服しない限り災害は防げない。一番の敵は、人の心であることを認識。
- 3 議員の災害時の役割
 - ・議員の安否確認から始まり、市に設置された災害対策本部と議会の連携をスムーズに行うため
に各市が策定した議会災害対策設置要綱や議会災害対応方針を資料として頂いた。
 - 三田市にあっては、議会基本条例に災害時の対応が明記されているが、詳細の動きが検討されて
いない。今後、議会基本条例を補完する要綱や方針などを検討すべきと考える。
 - 詳細は、配布資料参照。

【講義】災害への備えと危機管理

加藤 孝明

東京大学生産技術研究所・教授／社会科学研究所・特任教授，博士(工学)
【まちづくり，都市計画，都市防災，地域安全システム学】

平時の防災

～マネジメントを中心に～

令和2年度 市町村議会議員研修(1)

全国市町村国際文化研修所

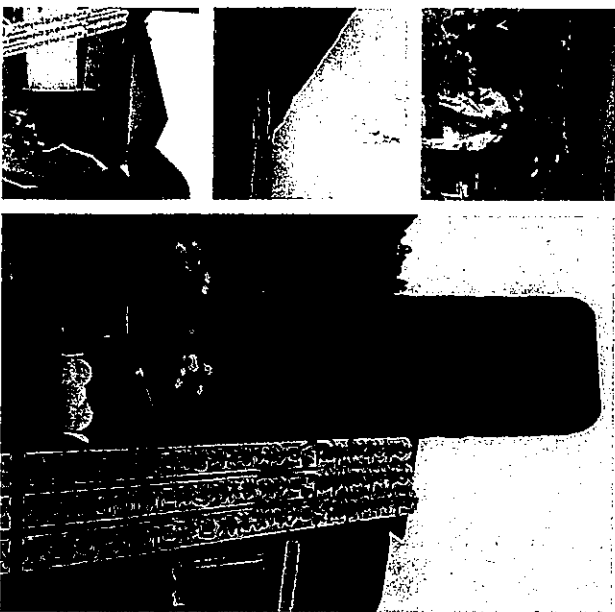
令和3年1月7日・8日

跡見学園女子大学観光コミュニケーション学部

(元板橋区危機管理担当部長、前区議会事務局長)

鍵屋 —

合川南小学校児童 慰霊碑



平時の防災 ～ワークショップ～

令和2年度 市町村議会議員研修(2)

全国市町村国際文化研修所

令和3年1月7日・8日

跡見学園女子大学観光コミュニケーション学部 鍵屋 一
防災企業連合関西そなえ隊事務局 湯井 恵美子

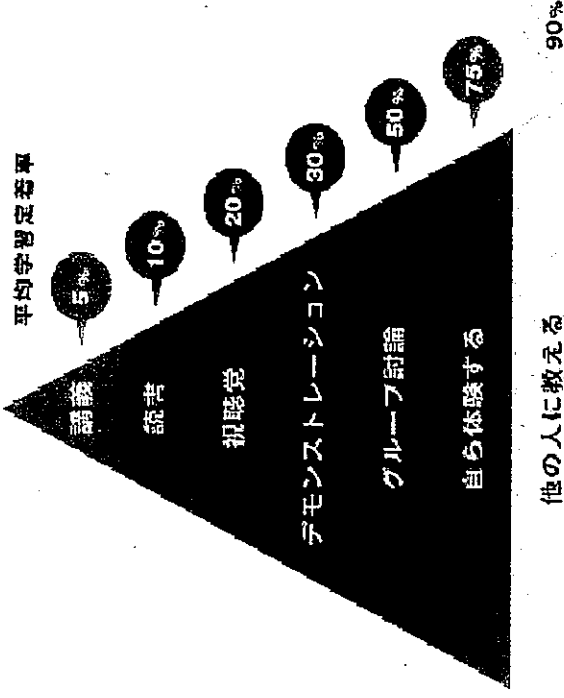
災害時の議会・議員活動 ～ワークショップ～

令和2年度 市町村議会議員研修(3)

全国市町村国際文化研修所

令和3年1月7日・8日

跡見学園女子大学観光コミュニケーション学部 鍵屋 一
防災企業連合関西そなえ隊事務局 湯井 恵美子



ラーニングピラミッド
著者: The Learning Pyramid, アメリカ National Training Laboratories

産業能率大学ホームページから引用

災害イメージづくりのプロセス

1. 災害に学ぶ(暗黙知)
⇒生々しい経験談を読む
2. 課題、教訓、知恵を抽出する
(形式知)
3. ワールドカフェで話し合っ
て、知恵、教訓を共有する

災害時の議会・議員活動 ～まとめと展望～

令和2年度 市町村議会議員研修(4)

全国市町村国際文化研修所

令和3年1月7日・8日

跡見学園女子大学観光コミュニケーション学部

(元板橋区危機管理担当部長、前区議会事務局長)

鍵屋 一

足利市議会災害時BCP (業務継続計画) について

令和3(2021)年1月8日(金)

足利市議会議員 栗原 収
(足利市議会災害対策支援本部長)

1頁/46頁

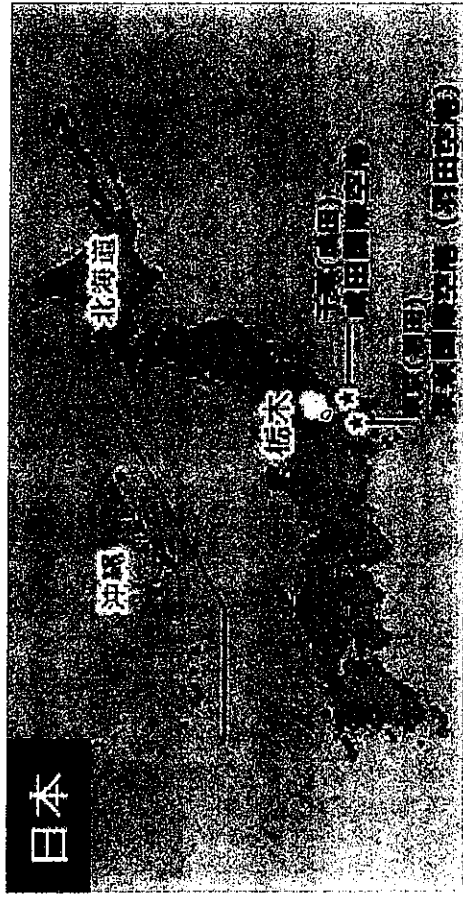
事業継続(BC)の目的

組織が災害で被害を受けても

- ・ 組織関係者の人命を守る
- ・ 重要業務を(なるべく)中断しない
- ・ 重要業務が中断した場合はできるだけ早急に復旧させること

※何が何でも事業継続ではない!
※人々や地域社会に迷惑をかけてはならない!

私のふるさと 足利市(栃木県)



2頁/46頁